

今を未来に

30年度 保々小学校着任式・始業式を行いました。

4月6日、2年生から6年生の子どもたちは、ほとんどの班が予定より早く学校に着いていました。慌てて来たりしたのではなく、新しい学年になることや新しい学級の仲間は誰になるかなあと思う気持ちが、歩く速さをほんの少し速めていたのだと思います。とてもいい表情であいさつをしてくれる子どもたちでした。

学校に到着をした時には、昇降口に貼られた学級名簿を見て、大騒ぎをしていた子どもたちも、着任式・始業式で体育館に入る頃には、とても落ち着いた様子になっていました。

着任式では9名の新しい先生を紹介しました。一人ひとりの職員が自己紹介をしましたが、その時も身を乗り出すようにして、話をしっかりと聞いている子どもたちでした。

そして、そのまま始業式となりました。私からは新生「チーム保々」は398名（子ども352名・教職員46名）であることを伝え、みんなで「学ぶことが楽しい学校」にしていくために、「心の計算を身に付けていこう」と話し、この後で入学をしてくる1年生に「心の計算」って何かを教えてくれるのが、先輩であるみなさんですとお願いをしました。

始業式が終わると、5年生以下は教室に入って教科書を配ってもらい、担任の先生のお話を聞き、たくさんの配りものを連絡袋に入れて、急いで下校となりました。その間に6年生は入学式の準備をさっと行い、5年生は再び体育館に戻って、入学式の言葉や校歌の練習をして、1年生を待ちました。



平成30年度入学式、59名の新しい仲間を迎えました。

59名の新1年生は、わくわくドキドキしているその気持ちを表情に浮かべながら、5・6年生が待つ体育館で、入学式に臨みました。高学年の子どもたちも、「ああ、4年、5年前の自分も同じだったなあ。」という気持ちで新1年生を迎えてくれたことと思います。校長からは、今年も「うさぎとかめの続きの話」の紙芝居を行いました。一人ひとりの違いを大切にしたいという願いを込めてお話しました。また、小学校は一つひとつ自分でできることを増やしていくところ、そして、全校のみんなが「心の計算を身に付けて、学ぶことが楽しい学校」にしていきたいと思っていることを伝えました。最後までしっかりと話を聞いているみなさんで、とっても嬉しい気持ちになった入学式でした。

在校生には、始業式の中で、「この心の計算を教えてくれるのは、みなさんですよ。」とお願いしました。子どもたち一人ひとりがその気になってくれることを期待し、私たち教職員もそうした一人の人間としての生き方を大切にしていきたいと思っています。

